

編 集 後 記

- 四月の異動で編集担当が変わったこともあって、今号の刊行が大遅れに遅れてしまい、早々と原稿をいただいていた執筆者の方々や、『参考書誌研究』の刊行を待ち望みはしないまでも、いつ出るのかと気にかけていただいた人たちには迷惑をおかけしました。
- 待たされたあげく、出てきた料理とはいえば食えた代物ではなかったというのでは申し開きできませんが、そういうことはないはずと信じています。
- これからどういう新味を付け加えていくかまだ考えができていませんが、基本的には、参考業務に関係のない人が読んでも興味性を感じられるような内容のものを掲載していきたいと思っています。雑誌の性格上、扱う題材がある程度専門性や特殊性に傾くのはやむをえませんが、それを扱う態度が外に向かって開かれていないと、どうしても表現に生硬なところや独りよがりなところが出てきて、はなはだ読みにくいものになってしまいます。それでは仲間内の者は仕事だからというので斜め読みくらいはしてくれるかもしれませんが、関係のない人は一二行読んだだけで放り出してしまうのがおちだと思えます。
- その点、今度の「和刻本漢籍概観」や「憲政資料室前史」は、一般的興味性も感じさせるおもしろい読み物になっていると思います。(高山)

○ 編 集 委 員

宮脇 岑生

高山 直也 (参 考 課) 高木 浩子 (官庁資料課)

尾形香代子 (") 大山 礼子 (政治史料課)

田中 克彦 (") 柴崎 節子 (科学技術資料課)

長嶋 孝行 (") 西田 元子 (アジア資料課)

戸澤 幾子 (") 野村 稔 (特別資料課)

参考書誌研究 第43号 平成5年9月30日発行

編 集 国立国会図書館専門資料部

発 行 国立国会図書館

東京都千代田区永田町1の10の1 (〒100)

電 話 3581-2331 (代)

印 刷 株式会社 ディグ 電話 3551-3060 (代)

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜き取り転載されるばあいには、事前に専門資料部参考課へ連絡してください。